

経友会の皆さんこんにちは！

1961 年小林研卒の鈴木 甫^{はじめ}です。皆さん、つつがなく 2021 年をお迎えのことと思います。
2016 年の経友会総会に「喜寿を超えた今でも現役で毎日が楽しいチャレンジ！」と題して
講演させて頂いてから早 4 年半が経ちますが、チャレンジは今もずっと続いています。
世の中が変化しつつある中で今回は 2 つの話題を提供したいと思います。

一つ目は、新型コロナ危機と経済について昨年 5 月から経営工学の視点から考察したものと
新型コロナに関する信頼できる You Tube 情報、

二つ目は、昨年 12 月に蔵前立志セミナーで提案された大岡山テクノロジータウン構想への
参画アイデア（“技術を活かすマネジメント”について気軽に交流する Dr. Practice マネジメ
ント・サロン開催@サロン ToiToiToi）です。

新型コロナ危機については、ものづくり.com に“QC による「新型コロナ危機への対応・
第 2 波入り口戦略」（その 1）」と題して 1 回目を投稿し都合 8 回投稿しております。これは
「鈴木甫」で検索して頂くと、ものづくり.com のプロフィール紹介が出てきて、その中の
「事例」のところをクリックして頂くとみることが出来ます。

メディアでは、日本は欧米に比べて死亡率も桁違いに低い、日本人はファクター X を持って
いるなどと言われていますが、アジアの中では主要 11 ヶ国の中で現時点では下から 2 番目
だということが分っていない。日本が緊急事態宣言を出しコロナ危機と経済再生のジレンマ

アジアの中の日本

人口1千万当り 死亡者数	累計	月 々 増 加							*2021	累計
	~6/15	~7/15	~8/15	~9/15	~10/15	~11/15	~12/15	~1/15*		~1/15
台湾	3	0	0	0	0	0	0	0		3
ベトナム	0	0	2	1	0	0	0	0		4
タイ	8	0	0	0	0	0	0	1		10
中国	33	0	0	0	0	0	0	0		33
ニュージー・	44	0	0	6	0	0	0	0		50
シンガポ・	46	0	2	0	2	0	2	0		52
マレーシア	37	0	1	1	13	42	35	51		179
韓国	55	2	3	12	14	11	21	123		243
日本	72	4	8	29	15	18	55	136		338
オースト・	40	4	106	173	35	1	0	0		361
インドネ・	83	61	86	110	125	109	144	247		965

"新型コロナウィルス情報"から作成

これで日本人には集団免疫があるとかファクター X が
あると言えるのでしょうか？

に右往左往している中で、コロナ危機を抑えて経済を活性化させている国がアジアにはあるのです。以下は、1月12日に仲間に送ったメールを15日に更新したものです。

アジアの中でコロナ危機を抑えて経済を活性化させている国は、強制的な手段による**中国**（データ信憑性の疑問はあるものの）と科学的・民主的な手段による**台湾**です。ベトナムもタイもニュージーランドもしっかりやっています。オーストラリアは8－9月の危機を脱しました。しかし日本は？？

アメリカの気鋭の経済学者スティーブン・レヴィットは「ヤバい経済学」の中で「犯罪の根本原因は”多くの子供が犯罪の温床になるようなひどい環境で育ったこと“にあることが、”犯罪率が、銃規制との相関よりも人工妊娠中絶の合法化との相関の方が高いこと（犯罪の温床になるひどい環境で育つ子供が生まれてこなかった）“で分った」といっていますが、**中国も台湾も**コロナの危機と経済との関係の**簡単明快（市中のコロナをゼロに抑えれば、人々は自由に活動して経済は自動的に活性化する）**な根本を理解し、果敢に実行した結果であると言えます。

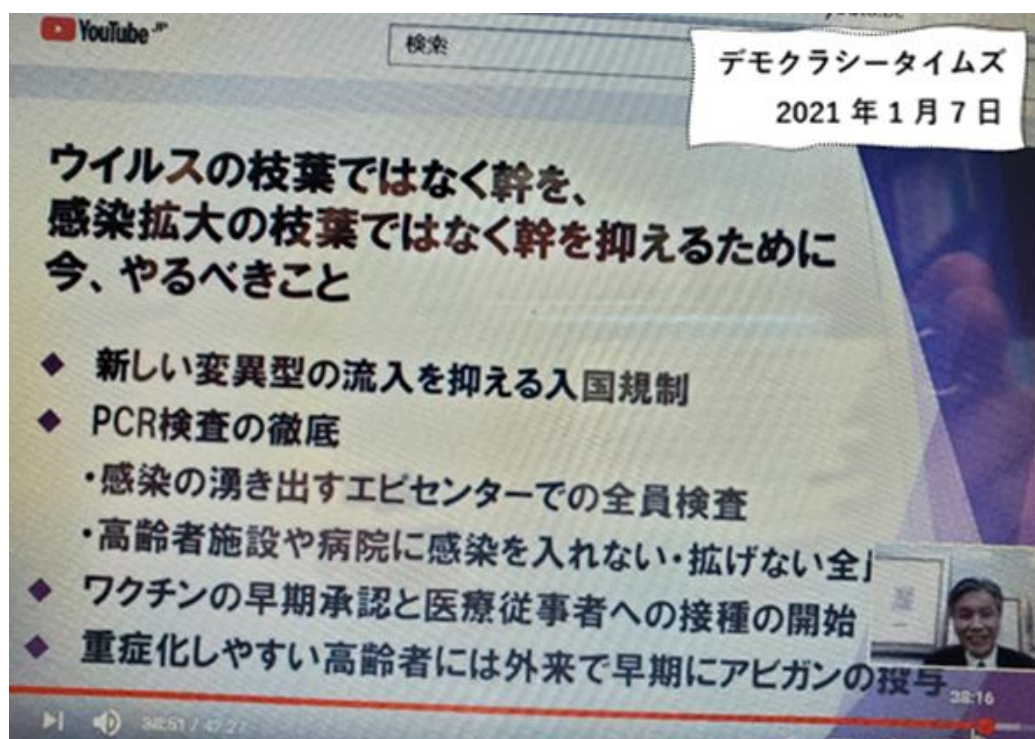
日本は、中途半端な対策で新型コロナの拡散も防げなければ人々も自由に行動できない、何で抜本的な手が打てないのか……。リスクを事前に防ぐ「リスクマネジメント」が欠落していて、事後の緊急事態に対応する「危機管理」しかない、ということでは？

ここで、**新型コロナウイルスに関する信頼できる情報**として児玉先生の年初のYouTubeを紹介します。 <https://youtu.be/hVtn7Br-PWw> 最初に出てくる公告はスキップ出来ます

児玉先生が最後に4点挙げています。（下図）

我々**高齢者の自衛**には以下の2点、が重要なようです。

- ① 人との接触を避ける、②**イザという時はアビガン**を（インフルエンザに対するタミフルのように）手遅れにならないようにすぐに処方して貰って服用する。



その後、世界では、感染力が高い・あるいは致死率が高いかもしれない変異型が見付かってこれが今のような無策の日本で拡散し出したら手に負えなくなる。それに関して児玉先生の最新の You Tube「変異型がやってきた 悪循環の出口はこっちだ」が 1/23 に出ましたのでぜひご覧ください。 <https://youtu.be/4kHcPm6b5lI>

また 12 日の You Tube 「コロナのトリセツ」も参考に。 <https://youtu.be/EixnUe--Fgs>



「オーバーシュートに立ち向かう！」 1/7 <https://youtu.be/hVtn7Br-PWw>

「国の方針を大転換せよ！ゴールはコロナ・ゼロ」 12/19 <https://youtu.be/liFNcXScID8>

「第3波、世界に広がる」 11/18 <https://youtu.be/if7MQJPjUv0>

「コロナ対策を世田谷区長に聞く」 11/23 <https://youtu.be/0S5tgdX5G1Q>

大岡山テクノロジータウン構想について、昨年 12 月の蔵前立志セミナー（下図）が終わってから、鈴木はリーダー格の川口さん（ToiToiToi というサロンカフェ&バー経営）に「人生の集大成として“技術を活かすマネジメント”の伝承と普及に取り組んでいるが、その一環として、蔵前の若い人達との気軽な交流会（Dr. Practice マネジメント・サロン）を御社の場所をお借りして月に 1 回位（コロナが収まってからになります）開けないものかと考え

ておりますが、とメールしたところ、「素晴らしい試みでございます！是非、私どもの場所をお使ください」と賛同を得ました。ということで、桜が咲くころには大岡山テクノロジータウン構想の活動の一環として、Dr. Practice マネジメント・サロンで、“技術を生かすマネジメント”について気軽に語りあうことが出来そうです。

若手起業家による、我らが大岡山を舞台とする楽しいプロジェクトの話題です。
一緒に夢を語り合いましょう！

第15回 蔵前立志セミナー
12月16日(水) 18:15～20:00

大岡山 勝手に提唱して、
協議しちゃいましょう！
テクノロジータウン構想
学生と若手OBOGで紡ぐ「街・大学・ベンチャー」のスタートアップエコシステム

Zoomによるオンラインセミナー



東工大人はどうしても技術マニアになってしまいますが、優れた技術を活かすには、なんといってもマネジメントの実践知が必要です。

鈴木は、高い技術を持ちながら欧米だけでなくアジアの国にも後れをとるようになってきた現状を憂えて一般社団法人 Dr. Practice マネジメント研究所を設立して技術とマネジメントに関する実践知の収集・体系化と伝承・普及に取り組んでいる中でありますが、この中で、経営工学の基本は、虚心坦懐に事実を観察して科学的に考える×心理学的行動経済学で行動する、ことではないかと考えています。

Dr. Practice マネジメント・サロンが開催できるようになりましたら、ぜひ経友会の皆さんに顔を出して頂きたいと思っております。

最後に蛇足になるかもしれませんが、アメリカはコーネル大学で「情報工学のフレイジャー准教授の感染制御モデルで週2回のPCR検査で感染者がどんどん減ることを確認し、100人の教職員からなるキャンパス再開チームでキャンパス再開を実現させた」と、1月23日の朝日新聞の朝刊に出ていました。ぜひご覧ください。日本では東京の世田谷区が児玉先生の指導を得て世田谷モデルで頑張っていますが、東工大でも出来ないものですかね。

それでは皆さん、2021年を元気に乗り切りましょう！！